



渡邊昇
上書

4069



114
A 4169



凡大事ヲ為シ欲ニル者奇策ノ能ク成ス可キニ非ズ頼瀾ヲ挽回
セシムル者詭計ノ能ク救フヘキニ非ズ必スヤ天下ノ大体ニ明ニシテ

目前奇詭ノ事故ニ拘泥セス

朝廷ノ議論ヲ確定シ富ノ動カスヘカラザル如キルニ非ルヨリハ大事
決シテ成ルヘカラス頼瀾決シテ挽回スヘカラス方今天下騷擾ノ餘外夷
交接ノ際寒心スヘキ者一ニシテ是ラ就中後世ノ患ヲ為ス者天主
耶蘇ノ二教ニシク者ナシ是其未タ大ニ蔓延セサルニ及レテ速ニ源ヲ塞キ
根ヲ絶サルヘカラス其根源ヲ塞絶スルニ豫シメ成敗利鈍ヲ顧ミ躡蹻
姑息一日ノ安ヲ偷ム寸ハ堂々タル

神列不欠シテ 神器ヲ置ノ地無ラントス在位ノ君子希クハコレヲ洞覽シ

正十一年四月
侯爵邸寄贈

必ラス塞絶スヘキノ

朝議ヲ決定シ忠信朴実ノ士ヲ精撰シ心ヲ一ニシカヲ戮セ百折不撓至誠
鬼神ヲ感スルノ勢ヲ以テ之ニ從事スルニ非レハ能ハサルナリ世ニ所謂
輕俊子弟ノ如キハ他自カラ用ユル処アリ庶幾ハ棄才ノ譏リナカラシカ
今寒心スヘキノ本ヲ推スニ流涕長大息スヘキノニアリ請試ニ是ヲ
論セシ竊ニ

皇国ノ勢ヲ察スル人ノ
国ニ媚從スル者十二ニ四国体ノ彼ニ傾モノ十二
四五ニ居ル是ヲ以テ迎合希旨彼ノ言フトコロノ者ハ皆萬国ノ公法ヲ称シ
我ニ不拔ノ確論アリトイヘ凡憚々焉唯其歡心ヲ失ハレテ是レ恐ル
憚心一夕ニ生ラズニ至ラサル処ナシ彼力歎フ所ノモハテハ天下ノ大患

機密ノ大事ト雖ニ必ハ之ヲ通スルニ至ル事或ハ正ニ成ラントスレハ平生ノ
持論ニ違フヲ憂ヒ私ニ以テ其跡ヲ実ニセシト欲シ竊ニ彼ヲ煽動シテ
以テ難事ヲ言ハレメ終ニ兵カヲ以テ迫ルノ言ニ至テ而後止ム然則萬国
公法ノ称果シテ何ノ義ニルトコロニヤ是其流涕長大息スヘキノ一也
某教師一日竊ニ或ニ告テ曰余日本ニ来リシヨリ星霜茲ニ十稔其淹
滯ノ久キ者他ナシ唯我道ヲシテ大ニ流布セシメント欲スレハナリ草莽
卑賤ノ流ニ至テハ隨テ信シ隨テ奉スル者甚タ多シトイヘ凡其志速ニ
逞レウスヘカラス吾日夕願トコロノ者此各ヲ以テ上

天皇ニ勸メント欲ス吾兄幸ニ其策ナキヤ果シテ其策ヲ得ハ我金楮ヲ制
造シ其各ヲ寫シテ以テ奉セシ列藩諸侯ニ至テハ之ヲ讀ム者決シテ三四

名ニ下ラスト云々是寒心スヘキノ甚シキニ非スヤ然ルニ某氏之ヲ察セスシテ
曰彼決シテ其道ヲ

皇国ニ流布セント欲スルノ意ナシ何トナレハ其人ニ各ヲ授クルヲ見ルニ邪蘇ノ
道ニ関係スル者アレハ則チ嚴ニ禁シテ之ヲ讀マシノス是其胸中一點ノ
私ナク深切ノ著ルシキ者ニ非スヤト先入既ニ精神ヲ暗襲シ一是ニ彼ニ
心醉シ其著眼ノ大ナルヲ諒セス之ヲ信奉スル鬼神ノ如キ者アリ是亦
邪教藩固中ノ人ト言フハ是其流涕長大息スヘキノニ也方今

王政古ニ復シ百事ニ新ナリ天下ノ一大快事ト謂フヘシ然ルニ創業守
成孰シカ難キノ論古ヨリ是レアリ守成ハ易キニ似テ及テ紛紜ヲ生シ
ヤスキモノナリ伏ニ性フニ彼其間ニ衆シ大ニ欲スルトコロヲ逞セシトス

是ヲ防クノ道必ス其ミヲ憂ル尤深キ者ヲシテ從夏セシハニ非サレハ能ハ
サルナリ之ヲ憂ル尤深キハ神儒俱ノ三家ニ如ク者ナシ一ハ天下ノ為メニ
憂ヘハ道ノ為ニ憂フ今此ノ大事ヲ以テ三家者流ニ托セシトス
輕俊子弟ヨリ之ヲ觀ハ必迂腐ノ極トシテ獨コレヲ三家者托シテ

朝廷之ヲ不顧トキハ迂ト言ヒ腐ト言フモ固ヨリ其所ナリ

朝議已ニ定リ処分已ニ立ツ三家者ヲシテ之ニ從事セシム何ノ迂腐カコレ
アラシ且諺ニ器械ヲ制セハ須ク其成ルヲ見ルヘシト此言小ナリトイヘ凡以テ
大ニ譬フヘシ吾其害ヲ除クヲ要ス目シテ是ヲ迂腐ト称スルモ固ヨリ
辞セサルトコロナリ三家者流ノ為ストコロ不可ナル者アラハ事成ルノ
後之ヲ処スル必其道アルヘシ今其害未タ除サルニ當ツテ先後スルトコロヲ

顧ミス叨リニ詭見異識ヲ以テ之ヲ排セトスルハ如何今天下ノ形勢譬ハ
灰燼ノ餘ノ如シ造室之設ケ其レ急務タラサルヲ得ニヤ然レテ其造室
ノ急ハ則亦其基柱棟梁ヲ先ニセサルヲ得ス世ニ好事ノ人アリ瑣々タル
茗苳酒室ニカラ専ラニシ大本ノ棟梁ヲ忽ニスルハ經營ノ中蠹兒
既ニ醸成シ一旦暴風地ヲ捲カハ則其頽敗立テ而待ツヘシ棟梁既ニ
如此ナルハ茗苳酒室豈獨全ヲ得ニヤ是レヲ之顧ミス世ノ輕俊子弟天下
既ニ平定ノ思ヒヲナシ自ハノ説ヲ持重ニ弁載ノ一時ト僥倖ス思ハル
甚シキト謂ヘシ是其流涕長大息スヘキノ三也是故ニ邪教ノ源ヲ
塞ント欲セハ前ノ三件ヲ除クニ非レハ能ハス三件ヲ除ント欲セハ目前
奇詭ノ事故ニ拍沈ニス忠信朴实ノ士ヲ精撰スルニ非レハ能ハサルナリ

後
也
冢
定
印